

# 第4回別府市温泉マネジメント計画策定検討委員会 議事要旨

日時：令和6年1月23日（火）10:00～12:00

場所：別府市上下水道局 3階大会議室

## 1. 開会

## 2. 議事

(1) 温泉資源の保護・活用に関する意見の整理と今後の対応

(2) マネジメント計画の素案に関する意見交換

<事務局説明>

- 温泉資源の保護・活用に関する意見の整理と今後の対応について説明
- マネジメント計画の素案について説明

<主な意見>

- 地下資源の保護については、モニタリング調査の拡充及び温泉排水の実態調査を通じて、関係機関と協議を進め、現在の課題に対する改善策の検討・実践が重要であり、これらの取組を、引き続き重点的かつ継続的に行い、持続可能な解決策の追求をお願いしたい。
- 別府の温泉が減少していないことが確認された上で、未利用湯の利活用について協議するべきだと思う。
- 温泉排水の現状調査を計画に位置付けることは非常に有意義であるため、現状を把握した上で、どのように活用するのかを計画に明記した方が良い。
- 温泉がどこへ排水されているかを把握できれば、河川に流されている成分等を計測することで、温泉排水の実態を調査できると考えられる。
- 温泉排水の実態を調査する手法は、温泉や河川の成分から推定するなどいくつか選択肢が考えられる。
- アボイドエリアの指定や特別保護地域の拡大等といった行政による規制以前に開発された地熱発電所も現存しており、そうした施設で過剰に取り出される温泉水についても目を向けて対応していく必要がある。
- 別府温泉の起源は雨水であり、涵養林等の水源地を守ることが地下資源の保護に繋がると考えるため、計画の中で位置付けられないだろうか。
- 今後、モニタリング箇所を100箇所程度まで増やしていけば、基礎的なデータが見えてくるだろう。
- 共同温泉の運営にかかる経費のなかで、清掃費・水道光熱費の占める割合が大きく、そうした経費に対する補助制度があってもいいのではないか。
- 温泉を冷ますために水道費がかかるが、冷却装置を取り入れれば水道費の削減に繋がると考え、共同温泉に対してそうした技術支援を行っていただければ良いと考える。
- 共同温泉において、清掃員の確保が困難であり、立地自治会等の単独での人員確保からの脱却については、是非進めていただきたいが、清掃の質が落ちないようにしなければならない。

- 共同温泉を集約することで、経営が安定することも考えられるが、まずは個別の温泉へのサポートが重要である。
- 共同温泉に観光客を呼び込むのであれば、番台等の人手不足の解消と施設の整備が必要であるとする。
- 温泉資源に対する関心や知識が一部の市民・事業者に限定的であり、持続可能な活動としていくために、地域全体の取組としていくことが必要という認識についてはその通りであるため、実現させる手段として、既存している地域の組織等と連携を取ることによって、地域全体に温泉を知ってもらう機会を作ることができるのではないか。
- 温泉資源を守る取組について、市民に広く知ってもらうことが重要であり、特に若い世代が参加したくなるような方法を模索していければ良い。
- 温泉の供給量と使用量を正しく把握することで、どの程度の未利用湯を利活用できるのかが明確になるのではないか。
- 入湯税超過課税を活用し、前倒しして計画を進めていってほしいと考える。
- 市民啓発・人材養成等を行う民間団体と連携しながら、温泉資源を守る取組への市民全員参加を促していければよい。
- これまで委員会で議論してきた意見が、計画としてまとまっている。

### 3. 閉会

以上